

氏名 (法人にあつては名称)	株式会社 そごう・西武
住所	東京都豊島区南池袋 1-18-21
計画期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
基準年度(*1)	令和 元 年度 ～ 令和 3 年度 (平均)

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	☒ (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上 (特定事業者) ☐ (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上 (特定事業者) ☐ (3)特定事業者以外の事業者
------------	--

2 事業の概要

事業者の業種	百貨店、総合スーパー (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：5611)
事業概要	百貨店

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項 目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和元～令和3年度 (平均値)	令和4～令和6年度 (平均値)	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和4～令和6年度 (平均値)
温室効果ガス 実排出量(*5)	8,790 t-CO ₂	8,482 t-CO ₂	7,783 t-CO ₂	6,696 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		3.5 %	11.5 %	23.8 %	%	%
温室効果ガス みなし排出量(*6)		8,482 t-CO ₂	7,783 t-CO ₂	6,696 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		3.5 %	11.5 %	23.8 %	%	%
実績に対する 自己評価	2023年8月末に旧新館を閉館。2022年3月に本館建物の1,2階を借増し、売場の部分改装を実施。改装に伴い休業区画が生じたり、店舗区画でLED化が進んだことでエネルギー使用量が減少しました。					

*1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制割合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。

*2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。

*3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。

*4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六フッ化硫黄)の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものを用いる。

*5 温室効果ガス実排出量とは、上記(*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。

*6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標の達成状況 (※任意記載)

(※原単位の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$)

事業分類	基準年度の 実績 a	計画期間の 目標 b	計画期間の実績 b			
	令和元～令和3年度 (平均値)	令和4～令和6年度 (平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4～令和6年度 (平均値)
百貨店、総合スーパー	49.62	46.94	40.83	35.13		
		5.4 %	17.7 %	29.2 %	%	%
		%	%	%	%	%
		%	%	%	%	%
原単位の指標及び 実績に対する 自己評価		%	%	%	%	%
4～8月期営業面積 (58,345千㎡) × 営業時間 (1.45千時間) + 9～3月期営業面積 (35,262千㎡) × 営業時間 (2.02千時間) を分母とした。@155.83 ※計画時の@202.7から変更。改装によるLED化・エスカレーター更新など省エネに努め目標達成。						

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

○設備更新

- ・本館 エスカレーター4基更新 (令和2年～令和5年度/4ヵ年計画)
- ・B2F食品売場の冷凍・冷蔵庫用クーリングタワー1台更新
- ・LED照明の順次導入

○日常の建物設備チューニング

- ・営業時間以外の店舗照明送電規制、後方施設 (事務所等) の執務時間圧縮および送電規制
- ・空調の弱冷房
- ・外気取り入れのための工夫※ダクトの操作や入口開放等

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値(*8)の活用等)

4 その他の取組の実施状況

- ・本業 (店頭業務) を通しての取組み…①環境配慮商品の品揃え②ライトダウン企画など環境イベントへ参加③お客様へ簡易包装のご提案 (包装紙削減・件数に応じて植樹活動)
- ・従業員の取組み…①エネルギー削減 (不要照明OFF、階段の2UP3DOWN) ②3R運動 (リサイクルやコピー排出圧縮等) ③従業員全員が意識し主体的に取り組むための教育や指導 ④店舗別、個人別の節電コンペを開催 (省エネ活動に参加し易くするための施策)

*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。

*8 環境価値とは、ワセットクレジット制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	株式会社 そごう・西武 そごう広島店
事業所の所在地	広島市 中区 基町 6－27
事業所の業種	百貨店，総合スーパー
事業の概要	百貨店

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項 目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和元～令和3年度 (平均値)	令和4～令和6年度 (平均値)	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和4～令和6年度 (平均値)
温室効果ガス 実排出量(*4)	8,790 t-CO ₂	8,482 t-CO ₂	7,783 t-CO ₂	6,696 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		3.5 %	11.5 %	23.8 %	%	%
温室効果ガス みなし排出量(*5)		8,482 t-CO ₂	7,783 t-CO ₂	6,696 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		3.5 %	11.5 %	23.8 %	%	%
実績に対する 自己評価	2023年8月末に旧新館を閉館。本館建物の1,2階を借増し、売場の部分改装を実施。改装に伴い休業区画が生じたり、店舗区画でLED化が進んだことでエネルギー使用量が減少しました。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

○設備更新 ・本館 エスカレーター4基更新 (令和2年～令和5年度／4ヵ年計画) ・B2F食品売場の冷凍・冷蔵庫用クーリングタワー1台更新 ・LED照明の順次導入 ○日常の建物設備チューニング ・営業時間以外の店舗照明送電規制、後方施設(事務所等)の執務時間圧縮および送電規制 ・空調の弱冷房 ・外気取り入れのための工夫※ダンパーの操作や入口開放等

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況(環境価値の活用等)

--

2 その他の取組の実施状況

・本業(店頭業務)を通しての取組み…①環境配慮商品の品揃え、売上の拡大②環境イベントの実施・参加(ライトダウン企画への参加など)③お客様へ簡易包装のご提案。包装紙、レジ袋削減推進 ・従業員の取組み…①エネルギー削減(階段の2UP3DOWN)②3R運動(リサイクルやCO ₂ 排出圧縮等)③従業員全員が意識し主体的に取り組むための教育や指導
